

「あいこう・ふなこ9条の会」ニュース

金権腐敗の自民党議員が、憲法審査会に席を置く資格はありません



自民党派閥パーティー裏金事件で、政治資金収支報告書を訂正した安倍派などの議員が、衆参両院の憲法審査会の委員に名を連ねています。

政治資金規正法違反の疑いが指摘される議員らが、国の最高法規のあり方を巡る議論に参加することについて、立憲民主党の泉代表は「国の最高法規の憲法を審査する議員が法律を守っていない。そんな人たちに憲法審査会にいる資格はない」と辞任を求めました。現在、衆院憲法審査会50人中自民党議員は28人、参院憲法審査会は45人

中22人です。憲法審査会は、自民・公明を含め日本維新の会など改憲派が多数を占め、改憲の糸口を巡って議論を重ねています。

岸田首相は、党内が金権問題で騒然としている中でも、自民党総裁任期中の今年9月ま

国民投票法の主な問題点

①お金の権力がある政党に圧倒的に有利

国民投票法には、広告宣伝費の規制がないので、お金がある政党は制限なく改憲宣伝にお金をつぎ込むことができます。無制限にテレビコマーシャルを流して、番組制作や人気タレント使った広告も可能です。インターネット使用についての定めもありません。有権者の判断を大きくゆがめる可能性があります。

②国会の発議から国民投票実施まで最短60日！

国民投票法には、国会が憲法改正を発議した日から60日以降180日以内と投票の期日を定めています。私たちが現行憲法と発議された改定案とを比較判断するには、時間が足りません。

③最低投票率の定めがない。少数数でも大事な憲法が変更される！

国民投票法には、最低投票率の既定がありません。ほんの少数しか国民投票に行かなくても、憲法を変えることができます。

国民投票法には、最低投票率の既定がありません。ほんの少数しか国民投票に行かなくても、憲法を変えることができます。

でに改憲を行いたいと述べ、公明党の北川副代表は緊急事態条項案を党としても検討したなどと発言し、改憲を加速させる構えです。万一、改憲発議がされ、国民投票が実施されると、改憲勢力に極めて有利な「国民投票

法」によって改憲案が通ってしまいます。国民投票法の重大な問題点を再確認し、「戦争する国にさせない」ための世論をさらに大きくつくらなければなりません。

国民投票法の主な問題点を列記します。

④複数の憲法の条文の改定を一括で賛成・反対を問うかもしれない

条文ごとの個別投票でなければ、国民の意思が正確に反映されません。

⑤公務員・教育者は、国民投票運動に参加すると罰則が科せられる可能性がある
教師は生徒に教えるのが仕事です。「地位を利用して憲法を語つたとみなされた場合、罰則が科せられる可能性があります。本来自由であるべき国民投票運動に、重大な萎縮効果を及ぼします。



憲法審査会と緊急事態条項

今、憲法審査会を開くこと自体が改憲の呼び水にされています。衆議院の憲法審査会は、改憲派の要請で毎週のように開催されています。

改憲派は、緊急事態条項の新設を改憲の突破口にしようとしています。その急先鋒に立つのが、日本維新の会です。緊急事態条項は、全ての権限を内閣総理大臣に集中し、国会議員の任期を延長することも可能にします。戦争するため独裁国家への道です。

核兵器禁止条約は世界を変えつつある

核兵器禁止条約が2021年に発効して以来、署名国は93カ国・批准国は70カ国になり、国際条約としての規範力を発揮しています。

新聞報道は、核保有国や「核の傘」のもとにある国も、変化を起こしつつあると伝えていきます。

①米民主党の議員が、核兵器禁止条約の支持をバイデン政権に求める法案を提出し、連邦下院の約1割が賛成、②フランスでは、上下両議院と欧州議会議員70人が、マクロン大統領に締約国会議にオブザーバー参加を要請、「この動きに不参加を続ければフランスの外交的窮地はさらに深まる。孤立ではなく信頼を得るためにオブザーバー参加を」と。③2回の締約国会議にはドイツ・ノルウェー・ベルギー・オランダ・オーストラリアが参加。④ベ



ルギーは「相互の努力でどう前進をつくれるか考える準備がある」。ドイツは核兵器の無い世界に進むために「核兵器禁止条約の署名国との対話」にも取り組む姿勢を表明している。

こうした世界の変化を無視し続ける唯一の戦争被爆国の日本政府に対して、「核兵器は不安と恐怖と敵対を増やし、決して平和は実現しない。2度と世界に被爆者をつくらぬ。戦争準備の軍拡ではなく、憲法9条を平和への武器として生かし、アジアと世界の平和のために準備・行動・外交を！」と私たちは求め声をあげ行動し、平和を願う世界の人々と手をつなぐ時ではないでしょうか。

内井みちえ

ちょっとサイエンス 雲についてのお話

今回は身近な自然現象の“雲”についてのお話です。

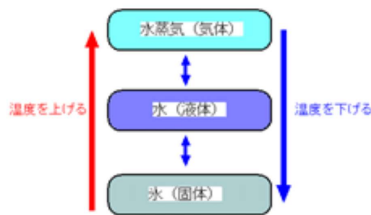
雲については小学生の時に勉強して、良く分かっている方も多いと思いますが、復習のつもりでお付き合いください。

空に浮かぶ白い雲、その正体は？

雲の正体は、空中に浮かぶ水や氷の小さな粒の集まりです。それでは、雲の正体である水や氷の粒はどこからやってきたのでしょうか？それは空気の中に隠れていた水蒸気から出来たのです。目には見えない水蒸気は、冷えることで凝結核といわれる空気中のちりなどに付着して水滴となります。そのようにして水や氷の粒の集まりとなって目に見えるようになったもの、それが雲です。

空気はどのようにして冷えるの？

上空の空気が冷える理由はいくつかありますが、一番の理由は、空気が上に向かって昇っていくことです。これを上昇気流といいます。上空に行くほど周りの気圧は低くなります。気圧とは隣り合う空気が押し合う力のことなので、



上空に行くほど周りから押される力が弱くなるということです。上昇して周りからあまり押されなくなった空気は大きくふくらみます。空気にはふくらむと冷えるという性質があります。このようにして、上昇気流があると空気はふくらんで冷えるのです。上昇気流があると空気はどんどん冷やされていって、やがて水蒸気が水や氷の粒になって、白い雲ができます。

上昇気流はどこに出来るの？

- ①空気はあたたかいほど軽く、冷たいほど重いため、あたたかい空気ほど上昇しやすくなります。晴れて暑い日に、太陽に温められた空気は上昇します。
- ②空気同士や空気と山などがぶつかる場所でも、押し出されるように空気は上昇します。富士山の頂上付近に雲ができるのはこれが原因です。
- ③まわりから空気が集まってくる低気圧の近くでは、多くの空気が上昇して雲がたくさんできます。
- ④あたたかい空気と冷たい空気のぶつかる前線でも暖かい空気が上昇します。雨や雪は雲から降るので、これらの雲のできやすい場所では、雨や雪も降りやすいといえます。(市川隆雄)